

## 令和5年度 第1回 豊能町地域公共交通会議 議事録

日 時：令和5年7月25日（火）午前10時00分から12時18分まで

会 場：豊能町役場吉川支所 2階会議室

出席者：委員14名、事務局4名

（詳細は別紙「令和5年度第1回会議出席者名簿」のとおり）

傍聴者：7名

### 1. 開会

午前10時に開会した。

### 2. 《協議》道路運送法に基づく市町村運営有償運送（福祉輸送）登録更新について

(1) 表記の事項について事務局より説明があった。

(2) 主な質疑・意見

〔委員〕 介護保険認定者と比較して障害者の利用が少ない理由は。

〔事務局〕 障害者が介護保険認定者と比較して高齢者が少ないこと、制度周知の問題等が想定される。

〔委員〕 資料5には個人情報が含まれる。取扱いはいかようにするか。

〔事務局〕 資料5は、会議後に回収する。

〔委員〕 年会費は、値上げするのか。

〔事務局〕 今回の更新では、想定しない。今後、年会費変更となる場合は、改めて協議いただく。

・以上、質疑応答の後、本事項にかかる異議の確認で、一同異議なしとなった。

### 3. 《協議》地域公共交通計画について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

① 豊能町地域公共交通計画（たたき案）

(2) 主な質疑・意見

〔委員〕 AI オンデマンド交通は、他市町村と異なる取組みであり、町や住宅地のブランディングへ取組みいただきたい。

〔委員〕 より分かりやすい表現や構成となるよう、検討いただきたい。

〔事務局〕 概要版作成等を検討する。

〔委員〕 「交通空白地」は、町としてどのように定義するか。

〔事務局〕 「交通空白地」は、今回定義をするものではない。

〔委員〕 施策に要する「ヒト、モノ、カネ」を明記してほしい。

〔委員〕 各施策の具体的な予算等は、別途個別施策毎の実施計画を策定する中で検討いただく。本計画は、方向性として記載するものである。

〔委員〕 運賃は、安価なほうがよいが、地域公共交通の存続が第一である。納得性のあるよう、周知いただきたい。

〔事務局〕 地域公共交通の維持を考えると、利用者減少と経費増加の中では、赤字を誰が負担するか考える必要がある。地域公共交通の維持にむけた最適な方向を検討したい。

〔委員〕 住民への周知・広報の仕方は重要である。

- 〔事務局〕 AI オンデマンド交通では、「もっと情報がほしい」との声が住民よりあったことから、令和5年度の実証運行ではより住民意見を聞きつつ進める。
- 〔委員〕 AI オンデマンド交通により、周辺の路線バス利用者は減少したが、地域公共交通による移動の総量は増加しており、まちの活性化に寄与すると感じる。
- 〔委員〕 交通事業者として、運転手不足等の課題を解消していきたい。また、路線バスは町から複数方面へ広く薄い運行となっており、どの交通を育て、他を最適な交通モードに転換するか検討していきたい。
- 〔委員〕 周知活動や利用促進へより積極的に取り組むべきだ。
- 〔事務局〕 本計画で施策に位置付けて取り組む。
- 〔委員〕 アプリ「とよのんコンシェルジュ」の利用促進や MaaS 等への活用、地域公共交通と防災との連携、町東西での往来や町内の流動向上にむけた道路施策等との連携等に取り組んでいただきたい。
- ・以上、質疑応答の後、継続協議とした。

#### 4. 《協議》令和5年度 AI オンデマンド交通実証実験について

(1) 表記の事項について事務局より説明があった。

(2) 主な質疑・意見

- 〔委員〕 車両のバリアフリー化除外は、あわせて審議対象とする。
- 〔委員〕 住民の声として、「到着時刻を設定できるシステムとできないか」「ミーティングポイントは幹線道路のみでよいのではないか」「アプリの講習会を改めて実施したい」との意見がある。
- 〔事務局〕 システム改修は検討・調整する。ミーティングポイントは、よりご自宅等に近く、利便性を高めるよう設定している。アプリ講習会は、開催を検討する。
- 〔委員〕 定期運賃は日割り計算とするか。
- 〔委員〕 改めて案内する。
- 〔委員〕 キャンセル料は発生するか。本格運行では、設定を検討いただきたい。
- 〔委員〕 発生しない。
- 〔委員〕 坂道など、危険なミーティングポイントは改善されたか。
- 〔事務局〕 乗降場所移設等を対応している。
- 〔委員〕 小人障害者運賃は、設定しないのか。
- 〔委員〕 運賃收受の都合上、100円に切り上げて設定する。
- 〔委員〕 令和6年度以降は、実証実験と同じ内容で運行するのか。
- 〔事務局〕 基本的には、その方向で検討する。
- 〔委員〕 東地区でも AI オンデマンド交通を運行してほしい。
- 〔事務局〕 コストや移動ニーズ等の面から十分に検証する。
- 〔委員〕 適材適所の導入が必要である。AI オンデマンド交通は、現在導入可能性の検証段階にある。
- 〔事務局〕 住民ワークショップを東地区で2回開催し、課題を伺っている。東西の地区では、交通の形態が違い、東地区では路線バス維持を求める声が多

い。今後、方向性検討を進めていく。

- ・以上、質疑応答の後、本事項にかかる異議の確認で、一同異議なしとなった。

## 【2】その他

- ・事務局より、資料5を回収する旨を連絡。
- ・阪急バスより、令和5年9月1日よりの運賃値上げにかかる許認可申請について説明。設備投資や運転手不足への対応のため、理解を願う旨を発言。
- ・京都タクシーより、担い手不足から営業所存続が厳しい局面にある旨を説明。住民からの運転手募集を呼びかけ。

## ○閉会

- (1) 午前12時18分に閉会した。